



# 森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

## どんぐりから苗木を育てよう！

### どんぐり育成プログラムの紹介

Vol12.でもご紹介しましたが、六甲砂防事務所では、森の世話人による森づくりとあわせて、平成14年度から、小学生が主体となり、育苗・植樹に取り組む「どんぐり育成プログラム」を行っています。「どんぐり育成プログラム」の目的は、山に木を植え、山を保全する環境教育を行うだけでなく、子供たちが過去の災害を学習し、六甲山系グリーンベルト整備事業で目指している六甲山地の森づくりの大切さを学習・体験する機会を持ってもらうことです。

参加校 | 洞が森小学校/板宿小学校/本山第一小学校/丸山小学校/鶴甲小学校/雲雀丘小学校

昨秋「六甲山地は、僕たちが守る！」と夢いっぱいの子供たちの協力で、「どんぐり拾いと鉢植え」を行いました。アベマキやコナラの実りは良く、子供たちは、森の中で滑ったり転んだり、ケバエの幼虫や穴あきどんぐりにいたゾウムシなどに驚き、森を楽しんでいました。

土砂災害防止の重要性を学び、苗木を育てる約束をしてくれました。



どんぐり拾い



種子集め



苗木の育成



鉢植えをします



土砂災害の勉強

2月～3月には、5校の小学校で、卒業記念や環境学習の一環として「植樹」活動を行います。



りっぱに育った苗木



協力して植えます



植樹



支柱を打ち込みます

森の世話人のカナディアン・アカデミーさんが、どんぐりの鉢植えを行っています。どんぐりの生長状況を観察し、楽しみながら、自分たちの手で苗木を育ててみませんか？事務所では、鉢植えだけでなく地植えでも元気に育っています。昨秋のどんぐりでよければ、事務局からどんぐりを提供いたします。どんぐり育成プログラムの出前講座等も行っておりますので、活動の一環として、ご希望の団体はご相談ください。